

郡山市立富田中学校
学校だより

No.46
【最終号】

“富中PRIDE”～自信と誇り～

自ら学ぶ生徒
正しく行動する生徒
健康でたくましい生徒



手をたずさえて

令和2年3月25日(水)発行

【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

別れは、出会えたことの幸せに気付かせてくれる！
ありがとう！富田中学校

令和2年度教職員人事異動が発表されました。今年度末をもって11名の教職員が転退職することになり、新たに11名の教職員をむかえ入れることになりました。今年度、転退職する教職員は、離任式の中で生徒のみんなの顔を見ながら挨拶をすること、富中自慢の校歌合唱を聴くことができません。残念な気持ちでいっぱいですが、仕方ありません。離任式での挨拶の代わりに、この学校だより【最終号】にて、転退職する先生方のメッセージを掲載します。

【令和2年度教職員人事異動について】

【退職・転出】

熊坂 洋：郡山市立小原田中学校〔校長〕
市橋保司：郡山市立郡山第四中学校〔講師〕
志村隆弘：郡山市立郡山第六中学校〔初任研〕
富田 修：退職 再任用：郡山市立大槻中学校
鈴木庸一：郡山市立安積中学校
吉田孝弘：郡山市立日和田中学校
長谷川光恵：郡山市立明健中学校
松田英治：郡山市立安積第二中学校
諸越正直：郡山市立大槻中学校〔特別支援学級〕
渡辺誠子：退職（郡山市立中学校給食センター）
柳沼智恵：退職（郡山市立郡山第一中学校）

【転入】

横田勝秋：いわき市立久之浜中学校〔校長〕
高橋 牧：郡山市立郡山第二中学校〔特別支援学級〕
小松裕子：郡山市立郡山第一中学校〔社会〕
白江 豊：郡山市立郡山第三中学校〔保健体育〕
高橋昭一郎：郡山市立郡山第二中学校〔技術〕
國分健太郎：奈良県大和郡山市立郡山中学校〔理科〕新採用
園田俊哉：講師〔国語〕
本多恭子：講師（郡山女子大附属高校）〔英語〕
角田秀樹：講師（郡山第六中学校）〔数学〕
水野瑠也：主事 新採用
真鍋博美：特別支援教育補助員（郡山市立郡山第三中学校）



転退職する教職員からのメッセージ

1年間の勤務でしたが、理科の授業、初任者研修やサッカー一部の活動を中心に充実した学校生活を送ることができました。組織としての機能を果たすためには、一人一人が自分の役割に自覚と責任を持ち、実行していくことの大切さを改めて学ぶことができました。次の職場でも、日々の取り組みを大切にしながら自分の責任を果たしていきたいと思えます。(市橋保司)

昨春、「自分の目」という作品群が美術室前にたくさん展示されており、生徒それぞれの真摯な心がデッサンに良く表現されていました。今、展示中の多様なテーマの作品も、感性の豊かさが感じられる素晴らしいものばかりです。美術作品だけでなく、富中生660人が素直な心と高い能力を持ち、今年度も様々な場面で力を発揮しました。学校全体として、活動が年々充実するのを感じた富中での6年間でした。

世の中、その人にしかできない事があるものですが、自分の思う通りにはいかないものです。「好きだから苦しいことに耐えられる。好きだから独創と工夫が生まれる。好きだからこそ、情熱と人の感動・共感を呼び起こす。夢をあきらめない限り、夢は生き続ける。」と、誰かが言っていた。生徒の皆さんは、好きなことに七転八起で打ち込み、今後も自分が有する優れた能力を大いに伸ばしてください。かつて家庭訪問をしていた時に、町内にあるいくつかの重要文化財や史跡が目につきました。図書室にある富田町史を読むと古代からの多くの歴史が記述されており、富田町への理解が深まりました。また新たな発見をするなど、地区内にいるからこそ見えてくる事があるもので、地域への愛着も出てきたところです。

保護者や地域の皆様方にも、これまで大変お世話になりました。すべての富中生の健康と一層の活躍、富中の益々の充実・発展を心より願ってやみません。ありがとうございました。(富田 修)

このたびの人事異動で安積中学校に転勤することになりました。8年間の勤務でしたが、生徒の皆さんと保護者の皆様のおかげでとても充実した日々を過ごすことができました。ありがとうございました。

数多くの生徒と出会えたことを大変嬉しく思います。中でも、部活動を通して素晴らしい選手たちと出会い、忘れられない思い出をたくさん作ることができたことは私の宝です。この多感な中学時代に一つのことに打ち込み、やり遂げることを大切に、さらに自分を大きく成長させてほしいと思います。野球部の皆さん、Teppenをめざして頑張れ。

1年1組の皆さん、「Keep smiling」笑顔を忘れず、感謝の気持ちを忘れずに、自分の良さを更に伸ばしてほしいと思います。2年生での活躍を応援しています。

最後になりましたが、皆さんのご多幸をお祈りしています。本当にお世話になりました。

(鈴木庸一)

あっという間にすぎた6年間でした。声を掛けると、明るくにっこり笑って笑顔で答えてくれるそんな生徒がとても多く、楽しく過ごすことができました。

卒業生の皆さん、多くのことに積極的に臨んでください。経験したことは必ず自分の力となります。失敗することも自分を成長させるための大きなチャンスだと思えます。

1・2年生の皆さん、今できることを確実にやり遂げていくことが、未来への大きな一歩となると思います。焦りすぎることなく、一つ一つのことをていねいに行ってください。

みなさんの前で話すことができなくて残念ですが、新しい勤務先でも富田中学校での思い出を胸にがんばりたいと思います。

保護者の皆さんこれまでのご支援、ご協力ありがとうございました。(吉田孝弘)

8年前に赴任した時に、昇降口に掲げられていた富中のキャッチフレーズは「郡山のビバリーヒルズ」でした。ご本家のビバリーヒルズがどんなふうだか、行ったことがないので正直分かりませんが、その文字を見た時に何だかとてもワクワクしたのを覚えています。あの時のワクワク感、8年間ずっと続きました。とにかく、毎日学校に来るのが楽しかったです。富中のかわいい生徒達、あたたかな保護者の皆様、すてきな先生方に恵まれて、長谷川は本当に幸せでした。心よりありがとうございました。

セレブが集う高級住宅地(ビバリーヒルズというのは、郡山市内の学校で一番見晴らしが良いという意味だったのかな～??本当は…)という外枠だけでなく、そこに集う人々の中に息づく“富中PR IDE”があれば、富中は鬼に金棒です。大好きな富中のますますの繁栄と皆様のご多幸を祈っています。

(長谷川光恵)

この度、安積第二中学校へ転勤することになりました。8年間という長きにわたって富田中にいたこと大変幸せでした。多くの人と出会い、多くのことを学びました。振り返ると良き思い出ばかりで本当に楽しかったです。いろいろなことがありましたが、その度に多くの人に支えていただきながらここまで来ることができました。支援学級の生徒の皆さん、今まで楽しかったですね。特にけやき学級の皆さん、早く新しい先生に慣れ、たくさん笑ってたくさん勉強してください。特別支援学級の保護者の皆様方、教育活動にご理解とご支援していただきありがとうございます。お子さんとの別れは寂しいですが…。サッカー部の在校生・歴代の卒業生の皆さん、保護者の皆様方ありがとうございます。一緒に走ったこと忘れません。何回走ってもやはりつらいですよ。たまに厳しいことを言いましたが、ついてきてくれて本当にありがとうございます。最後に教職員の皆様方、本当にありがとうございました。校舎から見える景色ともお別れです。何度も何度もですが、富田中学校ありがとうございました。(松田英治)

今年度末の人事異動にて、郡山市立大槻中学校勤務を命ぜられました。富田中学校では、9年前の東日本大震災時の年度途中の人事異動で8月からお世話になり、在職期間8年8ヶ月間勤務させていただきました。この期間で関わらせていただいた生徒の皆さん・保護者の皆様・教職員の方々には、とても恵まれて数々の忘れ難い思い出、充実した富中での日々を送らせていただきました。赴任先では、この富田中学校で得た経験を糧とすることはもちろんのこと、自分自身の母校でもあるので、更に精進して参りたいと思います。最後に皆様のご多幸と富田中の益々のご発展・ご活躍をお祈り申し上げます。大変お世話になり、ありがとうございました。

富中生の皆さんへ…皆さんと一緒に過ごせた富中生活はとても有意義で楽しかったことばかりです。今、世間は厳しい状況ではありますが、皆さんの活躍が何よりの希望となります。これからの中学校生活を十分楽しみ、充実した中学校生活となることを願っています。

野球部の皆さんへ…3年生最後の中体連と一緒に戦えないのが一番の心残りです。しかし、各自が県中覇者としての自覚・自信・誇りを忘れず、常に足元を見て、チームワークを第一に考えて進んでいけば間違いなく結果はついてきます。精一杯頑張れ！富中野球部OB・保護者会OBの皆様、現野球部保護者会の方々に感謝いたします。ありがとうございました。富中野球部最高！（諸越正直）

短い間でしたが、富田中学校の皆さんと一緒に過ごした時間はとても楽しく、充実していました。卒業していった皆さんはこれからの新しい生活を悔いなく未来を見据えて過ごしてください。在校生の皆さんは富田中学校の伝統を守りつつ新しい歴史を作って行ってください。楽しみにしています。ありがとうございました。(渡辺誠子)

特別支援教育補助員として1年間、大変お世話になりました。

えのき・けやき学級のみなさん

朝の清掃、学活、交流授業や給食など、たくさんの時間を一緒に過ごしてきましたね。いつの頃からか、不安なことがあると、自分から『次どうしたらいいですか？』と聞けるようになっていたり、見ていなくても一生懸命に無言で掃除できるようになっていたり、話すのが苦手でも、友達や先生に笑顔で話しかけられるようになっていたり…日々、成長を感じていました。そして、電車に乗って行った会津への校外学習、恵方巻作り…どの場面でも楽しそうな笑顔があふれていた事を思い出します。みなさんの成長を近くで見ることができたことがとても嬉しく、私にとっても充実した1年になりました。

1・3・4・5のみなさん

交流授業の時、いつも温かく迎えてくれてありがとうございました。授業のときだけでなく、休み時間や廊下で会った時に明るく挨拶してくれたり、話しかけてもらえたこと、とても嬉しかったです。

補助員として、養護教諭として本当にお世話になりました。富田中を離れても、みなさんの事をずっと応援しています。自分の心と身体を大切に、いつも笑顔を忘れずにいてくださいね！

本当にありがとうございました。(柳沼智恵)

教頭時代3年、校長3年、計6年間、お世話になりました。掲げてきた『富中PRIDE』は、裏返して言えば、『富中“愛”』だったと思います。ダイアナ・ロスの『If We Hold On Together』という曲からヒントをもらいネーミングした学校だより『手をたずさえて』は、学校のあるべき姿を表現する大切な言葉だと思っています。あなたに 出逢えてよかった/しみじみと そうおもう/あなたに 出逢えてよかった/ありがとう ありがとう/すべてのふりかえる道が/この道へ 続いていたと思える日は/こころが なんとでもくりかえす/ありがとう ありがとう/ ～「出逢い」関 洋子～

愛する富中とも別れの時がやってきました。富中生（卒業生も含む）へ、人はみな、だれも通ったことのない自分がはじめて歩く道を一生かかって歩く。どうか、自分の夢をとことんリアルに描き続けてください。

保護者の皆様にも、心より感謝いたします。本当にお世話になりました。(熊坂 洋)